



富田 たく



日本共産党杉並区議団控室 電話：3312-2111(2319) FAX：3312-2610
ホームページ：http://www.tomitaku.jp
メール：info@tomitaku.jp ツイッター：@tomita_taku

区議会・第2回定例会で一般質問！ 新型コロナ対策の抜本的強化を！！

区独自支援が拡充！
党区議団の提案が一部実現
自粛要請に伴い、非正規労働者の解雇や、各種事業所の休業・事業縮小、賃金の減少など、区民各層、各分野に未だ経験したこともない深刻な影響が及んでいます。こうした状況の下、杉並区は区民の実態や要望に即した支援策を打ち尽くす決意が必要です。
質疑では、区民・事業者の厳しい実態を告発し、他区の先進施策など参考に区としても支援を拡充するよう提案しました。



5月29日、区議会本会議でマスクを着けて一般質問に立つ、私・富田たく。

杉並区議会・第2回定例会が5月29日から6月17日の日程で開催されています。私・富田たくは党区議団を代表して、新型コロナウイルス感染症対策について一般質問に立ち、PCR検査体制、保健所機能、区民・事業者支援の抜本的拡充を提案しました。

PCR検査体制の
抜本強化を！
区は、区民生活を守るため区内事業者への区独自の家賃支援、就学援助世帯への昼食費相当額の補助、ひとり親家庭への独自支援を、それぞれ検討していると答弁しました。
区独自の支援策の拡充については、お寄せいただいた皆様の声を受け、議会や申し入れなどで提案してきました。まだまだ、支援策としては十分とは言えませんが、区民の声に心え杉並区が独自で支援策を実施することは重要です。

次なる感染拡大をいち早く察知するために、PCR検査のスピードと量を現状より拡充することが重要です。杉並区では他区に先駆け発熱外来を設置し、PCR検査を行っています。検査人数が多くなると結果が出るまでに3〜4日を要するのが現状です。
質疑では、検査体制の抜本強化の必要性についての区の認識を確認するとともに、ドライブスルー方式等のPCR検査の導入や、検

次ページへつづく

査車両の導入など、新たな検査方式の検討を行うよう提案しました。

区は、検査強化の必要性を認め、生活衛生課分室での検査の実施準備を進めているとし、新たな検査方式については、必要性や実現の可能性などについて研究していくと答弁しました。

長期化を見据え

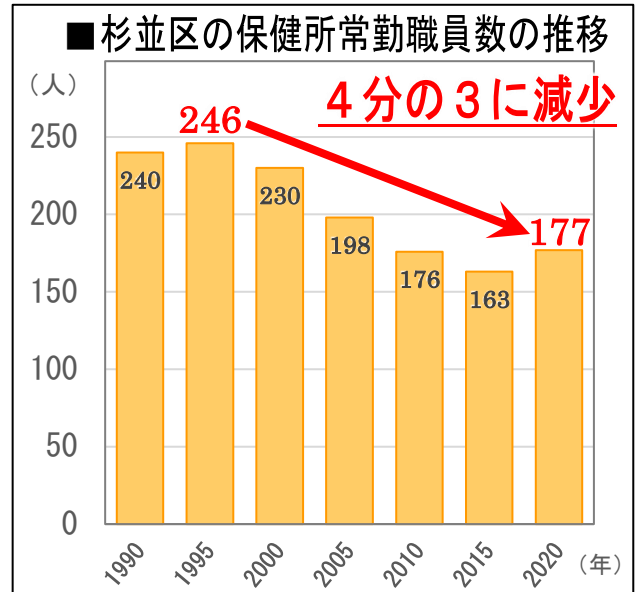
保健所の抜本的強化を

保健所の体制は全国的に1990年代から削減されています。感染拡大の長期化を考えると、検査の強化とともに保健所機能の抜本強化が必要です。

質疑では、区の保健所でも常勤職員が95年の246人から177人へ、70名近く削減されたことが明らかとなりました。(右側中段グラフ参照)

職員数が削減された結果、今回の新型コロナウイルス対応では、保健所の現場職員に負担が集中しています。また、区民からの新型コロナウイルスに関する問い合わせ対応で人員が不足するなど、区民サービスも低下していました。

人員削減の事実も認めましたが、保健所の体制については、今後モ区



役所内での応援体制や、派遣・委託などで対応すると答弁。抜本的な強化に後ろ向きな姿勢は改善するべきです。

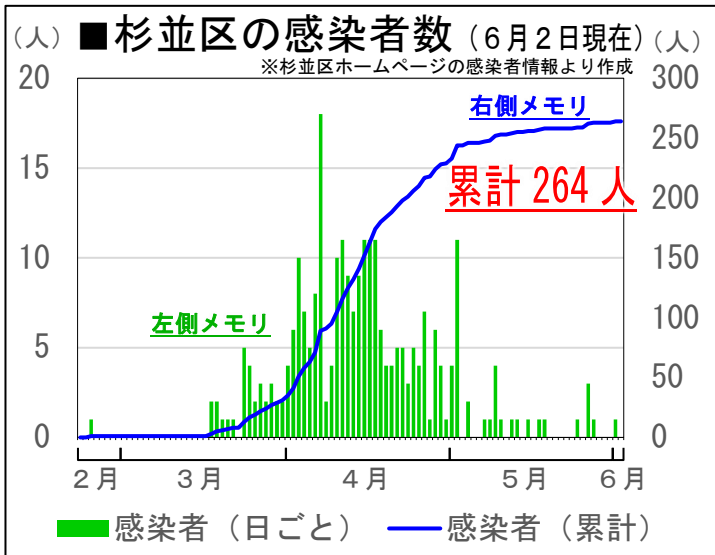
区内民間医療機関への

財政的支援を

さらに、地域医療体制の強化も喫緊の課題です。区内医療機関からは、新型コロナウイルス禍で、外来患者が約3割減少したとの声が我が党にも届いています。

区が区内4つの基幹病院に対し、感染患者受け入れに伴う減収への財政支援を行ったことは、地域の医療崩壊を食い止めるために非常に重要です。

質疑では、こうした支援を継続する



とともに、4病院以外の民間医療機関への支援拡充を提案しました。

区は、医療機関への支援は本来、都の役割であるとしたうえで、当初の4病院への支援は地域医療の崩壊を防ぐために実施したものであり、今後の支援継続や、他の医療機関への支援拡充については、区や都の支援の動向と今後の感染拡大の状況を踏まえて改めて検討する、と答弁しました。

今後も、区民の命とくらしを守り、区内の公衆衛生向上を実現するためにも、保健所機能の強化や支援策の強化を強く求めてまいります。

日本共産党発行 大手マスコミが伝えない 政治の真実を伝える!

【ご購入の連絡先】
◇日本共産党 杉並地区委員会
TEL : 3314-5551
FAX : 3318-1492

日刊 ●月 3,497円
日曜版 ●月 930円

新型コロナウイルスについてのアンケート実施中です

外出の自粛要請などで様々な影響が出ております。ぜひ、みなさまの声を寄せてください。